

生活創造しんぶん

Wa' Wa' Wa'

編集・発行
姫路市北条1-98 姫路総合庁舎
中播磨消費生活創造センター
生活創造応援隊

しんぶんを通して、人のWa'・平和のWa'・話のWa'など限らないWa'に出会いたい…そんなWa'を伝えていきます。

(生活創造応援隊 一同)

銀の馬車道 No.9



自宅を建てる時に、大工の親父に、ひとつの見本として「柳田國男さんの生家のような家」と言ったのです。「日本一小さな家」と柳田國男さんが言われた“小ささ”を私は言いたかったのですが、親父は「人には格というものがある。分にふさわしい家がいい」と助言してくれたのでした。言われてみて再度訪ねて、敷居に座ってみて「あ！」と気づきました。庶民の家より、いく分か高い。なるほど、わたしは不似合いと、わかりました。

…という敷居の高さが、中塚さんの版画の縁側に表現されていて、関心いたしました。さすが。

岩田健三郎

柳田國男生家

柳田國男は日本民族の風習や風俗、伝承など幅広く考え民俗学という新しい分野の学問をうちたて「民族学の父」と呼ばれています。

8人兄弟でしたが3人は早世しています。

松岡家の5兄弟とたたえられて、それぞれの世界で立派な仕事をしました。

長男 松岡^{かたえ}鼎 医者
三男 井上通泰 眼科医、歌人、国文学者
六男 柳田國男 民俗学者
七男 松岡静雄 言語学者
八男 松岡^{えいさく}映丘 日本画家

國男、静雄、映丘はこの家で生まれました。

私は、こんな近くの家から五人も中央で活躍の兄弟が出ておられることに、感激、感動です。

中塚勝美 作

も く じ

特集 ぶら〜り町歩き

〜福崎町〜 P2

〜姫路市須賀院〜 P3

イベントとお知らせ

P4



中播磨の行ってみたいこんなところをご紹介

～NO. 8 福崎町辻川～

福崎町にとって民俗学の柳田國男とその兄弟は宝物です。長男鼎（かなえ）は医師で政治家、3男井上通泰は国文学者で歌人、7男松岡静雄は海軍大佐で言語学者、松岡輝夫は映丘と雅号に持つ日本画家です。

國男が「私の家は日本一小さい」と表現し民俗学への志の源を発したとされる生家は辻川の街道から昭和49年に國男ゆかりの鈴の森神社の傍に移築され、懐かしい日本家屋の様をたたえています。



歴史民俗資料館



柳田國男生家



鈴の森神社は「学問」と「安産」の神様

すぐ傍には柳田國男・松岡家記念館があり兄弟の活躍の膨大な資料が展示され、その裏にある神崎郡歴史民俗資料館と共に民族の歴史を伝えています。資料館は神崎郡役所として建てられたものを移築、復元されたもので優れた明治建築として兵庫県重要文化財の指定を受けています。又、この地を訪れる人が気持ちよく見学できるように階段には手すりが備えられ、坂道はなだらかに整備されていて、高齢者や障害のある方も安心して見学できるようになっていました。

大庄屋三木家は平成22年から保存工事が始まり現在生まれ変わる最中です。その工事現場も見学させていただき百姓一揆の際に大きな被害に合わなかったのは大庄屋なのに農家との違いを出さないように小さな柱を使ったりした心がけがあったからと説明を受け納得しました。農民を治めるのは力でなく心だと感じる事ができた思いです。その前の道が銀の馬車道です。カラー舗装されていて見学コースがわかり易くなっています。

柳田國男が好んだ山桃の木のある道には、國男や通泰の没した8月の「山桃忌」に福崎町文化協会が募集した短歌の優秀作品が展示されることで、文化人を忍ぶ地の雰囲気を感じられました。



狛犬の親子…足元にじゃれる子どもが

福崎の特産はもちむぎです。その味や商品の数々を楽しむ「もちむぎのやかた」は大庄屋三木家のすぐ北側にあります。平成7年に完成し、日々多くの人をお迎えしていますが、これは関係者がもちむぎ商品の開発に開発をはじめ、諸種イベントの企画等、努力を重ねた結果とが…。ぜひ、お訪ねください。

（応援隊 小國冷子 尾崎美津子）

※ 取材エピソード…「鈴の森神社」で甥っ子の合格祈願の絵馬を買った応援隊のKさん。代金300円はおさい銭箱に入れてと書いてある。書いてある通りに300円をおさい銭箱に入れた！ えっ？ なんと入れたのは、まるごと財布！ 太っ腹なKさん？！ この後が大変だったことは言うまでもありません。（笑）



ラッピング電車とバス



柳田國男が10歳～12歳まで生活した大庄屋三木家。今は改修中。



キリシタン灯籠・市指・大野・大野

～No. 9 香寺町須加院～

国道312号線を福岡方面に向かい、須加院口交差点を北へ1km少し行くと須加院に着く。永禄・天正1558年～1592年に赤松旗下の須加院準人が住んでいたことからこの地名となった。

常福寺

平安時代に建てられた極楽寺の跡に再興された須加院常福寺は黄檗宗の隠伝和尚の弟子、実伝和尚が開創されました。今回案内をして頂いた住職は、3年前より野里の雲松寺住職で2つの寺を兼業されているそうです。

山門は中国風の朱色桜門。弥勒菩薩の化身である布袋さん(当時は金箔)が鎮座して迎えてくれます。

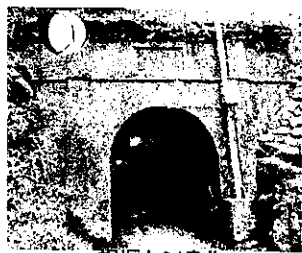
その先の本堂を仰ぎ見ると沢山の鬼瓦が建設当時から変わらず睨みを効かせています。本堂の中に一步足を踏み入ると板瓦が敷き詰められ、両脇に黄檗宗らしい座禅席がありました。また天井には、今にも動き出しそうな2頭(龍)が皆を見下ろしています

本尊は釈迦如来が中央に。両側後側にはたくさんの仏様が。普段は開けられないお釈迦様の寝姿の仏像を見せていただきました。仏像の後ろに描かれたお釈迦様の母の姿は今も昔も変わらない母親の深い愛情が伝わってきます。また、重要文化財に指定され、今は東京の国立博物館に保管されている土造阿弥陀、土造地藏菩薩瓦経は江戸時代に出土されたものだそうです。

雲松寺住職のお陰で様々な仏像を拝観出来、心豊かになりました。今回の取材は、私にとって郷愁を誘う訪れでした。 ※隠伝和尚～インゲン豆を江戸時代に中国より日本にもたらした弾宗の一派 (応援隊 樽谷菊美・大野律子)

田川神社(式内田川神社)

奥須加院の氏神で字北川に位置し、水田を灌漑する須加院川をあがめて神社としたものです。石造の鳥居と灯籠は500m程離れた所にあり昔の社域の広さがわかります。境内には山神社、竹生島神社、地神社が別に祀ってあります。拝殿(舞殿)から本殿への拝所となる唐門は華やかさの中にも厳かさをうしなわないで格式のたかさを漂わせています。老木も多く樹齢千年を越す樺は、周囲6mもあり町内随一の巨樹です。また境内横を流れている須加院川(喜多川)にはホタルが生息していて、5月下旬～6月上旬頃に行くとホタルの乱舞がみられるそうです。(応援隊 尾崎美津子)



相坂トンネル

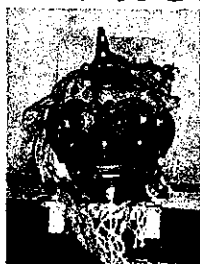
相坂トンネル 1921年(大正10年)に完成したトンネルです。相坂から須加院へと抜ける峠に掘られた煉瓦作りのトンネルで、全長70m、高さ2.9m、道幅2.45mです。トンネルは非常に狭く車一台が通るのがやっとでした。

八徳山八葉寺

天台宗のお寺で天平8年行基上人の開創。播磨六山のひとつで、平安中期に「日本往生極楽記」を著した寂心上人(俗名 慶滋保胤)が七堂伽藍を整備し、書写山園教寺の開創者の性空上人と親交が厚く上人から頂いた沐浴の湯釜が現在も本堂奥の「奥の院」に保存されています。毎年1月7日に行われる播磨路で一番早い鬼会式(鬼追い)では赤鬼と青鬼が息災延命・五穀豊穰の願いを込めて踊ったり、紅白の餅がまかれます。また、めずらしい小安の木の群生地でもあります。(応援隊 大野律子)



特別に見せていただいた赤鬼面



「奥の院」



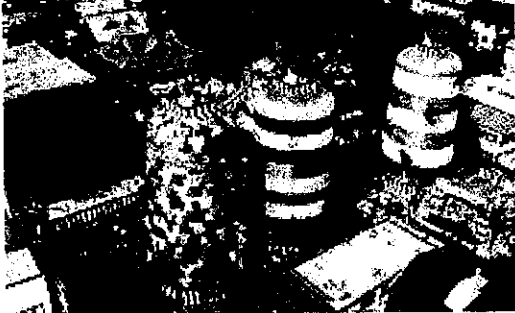
奥の院に保管されている貴重な浴湯釜

※取材エピソード…常福寺では、キリシタン灯籠があるお庭を見ながら住職の奥様にお手前を頂きました。お話を伺い、何百年もの時を経た貴重なお釈迦さまなどを守る方大変さを痛感しました。

☆イベント情報☆

三ツ山大祭開催 平成25年3月31日～4月8日

播磨国総社（はりまのくにそうしゃ） 射楯兵主神社（いたてひょうずじんしゃ）で20年に一度執り行われる「三ツ山大祭」。姫路、播磨の地域のみならず、全国の厄災を祓い、平安と発展を祈る珍しいお祭りとして途絶えることなく継承されています。



特別企画展「姫路・城下町の祭礼 播磨国総社の三ツ山大祭」
兵庫県立歴史博物館で4月7日（日）まで開催

あほし街探検スタンプラリー開催

参加店3軒のスタンプでひまわりサロンのラッキーリードをプレゼント！

毎月開催！

平成25年3月2・3日

10:00～16:00 （12月まで毎月2・3日）



＜問い合わせ＞

NP0 法人兵庫県若者らの自立を考える連絡会（阪本）

平成25年度 生活創造応援隊募集！

中播磨をさらにいきいきした地域に！

センターの職員と連携し、生活創造活動に関する情報の収集や発信をしませんか？

☆募集人数…20名

☆期 間…委嘱日（平成25年4月）から、平成26年3月31日まで

☆募集期間 平成25年3月22日まで

＜問い合わせ先・申し込み先＞

兵庫県中播磨消費生活創造センター

（担当 福田、安積）



みんなで楽し（取材）

～お知らせ～

平成14年9月より奇数月に発行してきた「生活創造しんぶんwa'wa'wa'」も今回で第64号。平成25年度より「はばタン消費者ネットニュース」と合併し、「リニューアル！中播磨wa'wa'wa'」として情報発信します。生活創造応援隊が担当する情報やセンターからの消費者啓発情報、イベント情報などなど…。お楽しみに～

☆センターの消費生活相談窓口をご利用いただける時間☆

相談受付時間 : 平日 9:00～12:00 13:00～16:30

しんぶんについてのお便り・お問い合わせ

〒670-0947 姫路市北条1-98

中播磨県民局 中播磨消費生活創造センター

Tel 〇〇〇〇〇〇 Fax 〇〇〇〇〇〇

ホームページ : 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

メールアドレス : 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

生活創造活動コーディネーター（安積）

